

電機労働者懇談会

Electric Labor and Industry Correspondence

2016年11月10日

No 347

発行者ELIC編集委員会谷口利男
105-0004 東京都品川区二葉2-20-8
電話(03)6421-5323 染野ビル2F
郵便振替00130-3-358078ELIC編集委員会

ELIC

1部100円

日立と闘っている田中さん村田さんを励まし、 日立黒字リストラ反撃決起集会

10月9日(日)横浜市の戸塚区役所の多目的スペースにおいて、日立リストラかながわ対策会議(以下対策会議と称す)主催で『日立黒字リストラに反撃する決起集会』が76名参加で開催されました。(右写真)

開会挨拶は、戸塚地域対策会議の沢中正也さんが行ない、主催者挨拶は対策会議の岡本一代表が「リストラとの闘いはアベノミクスに対する闘いである」と行ない、続いて連帯挨拶で神奈川労連の住谷和典副議長は「雇用対策法に基づき雇用を守る闘いが重要である」と強調されました。

報告では、対策会議の中村由紀子事務局長は、この間の闘争経過を詳細に行ない、自由法曹団神奈川支部の高橋宏弁護士は、子会社への転籍禁止仮処分命令の提訴意義と闘いの現状と展望を語りました。

電機・情報ユニオンの米田徳治委員長は「日立資本との闘い」と題し、今回の闘いは解雇・差別争議で日立本社と和解解決した協定にも反するもので、草むしり作業を命じた事も「緑化業務」と強弁しており、法令と人権無視であり闘い抜くと訴えました。

支援・激励挨拶では、日本共産党から畑野きみえ参院議員・木崎忠正県議・岩崎横浜市議・荒木横浜市議・横浜西部労連吉田事務局長・神奈川革新懇大森たけしさん、戸塚新婦人松浦幸恵さん、東芝の職場を明るくする会鈴木登美夫事務局長、富士通FIP中野康一さん、日立の職場からも2人が実態を告発、日立懇原田事務局長、日立争議団OBの宮崎・荒川さんなどから激励の言葉が寄せられました。

闘いの先頭に立っている、転籍強要で仮処分提訴した田中章夫さん、人権侵害を受けて日立と団交を行なっ



ている村田光裕さんは、自身が受けたひどい実態を告発しながら、反撃集会に大勢参加して頂いたことに感謝を述べ、「泣く泣く辞めさせられたり転籍された人の分迄頑張りたい」と決意表明しました。

閉会挨拶した神奈川電機懇の今井節生代表は、本集会是「闘う2人を励まし反撃する」と位置づけており、職場に導入されている成果主義賃金制度は、評価で低位にされたら降格や減給となるもので、日立を初めとするリストラ人減らしを糾弾しようと呼び掛け、団結頑張りよう三唱で閉めました。

今月号の紙面

- ①日立のリストラ反撃集会を開催
- ②17春闘アンケート葉書の配布
- ③降格・降給問題を労働法から考察
- ④労働法制大改悪を阻止の学習会
- ⑤日立懇「第25回総会」を開催
- ⑥ラプラス「温泉と城」岩佐さん
- ⑦電機情報ユニオン、青年コーナー
- ⑧アンケート活動。争議支援行動からむす普及のお礼、集積回路